



83rd INTERIM KURODA ELECTRIC REPORT

株主・投資家の皆様へ
第83期上半期 事業のご報告

平成29年4月1日》》平成29年9月30日

黒田電気株式会社

証券コード：7517

株主の皆様へ

TO OUR SHAREHOLDERS

ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第83期第2四半期(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)が終了いたしましたので、ここに事業の概要についてご報告申し上げます。

当社の重要なステークホルダーである株主の皆様には、いままでも厚くご支援をいただいたことを深く感謝いたしておりますとともに、改めて御礼申し上げます。

また平成29年10月31日、当社はMBKパートナーズグループによる当社株式の非公開化の提案に対して、賛同の意見を表明するとともに、株主の皆様に対して本公開買付けへの応募を推奨する旨の取締役会決議をいたしました。詳細はP8「MBKパートナーズグループによる当社株券等に対する公開買付けの実施」をご参照下さい。

一連の取引完了後、当社は非公開会社となりますが、引き続き変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

上半期の概況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、不透明な国際情勢にも関わらず国内における雇用・所得環境の改善が続き底堅く推移いたしました。

当社グループを取り巻くビジネス環境は、液晶関連ビジネスにおける取引先の事業方針変更の影響を受け大きく変化いたしました。当社グループは、このビジネス環境の変化に対応すべく、新たな経営方針として掲げた「営業利益率の改善による営業利益の増加」を目指し、既存事業モデルの改善、新規事業の創造に取り組んでおります。



代表執行役社長 (CEO兼COO)

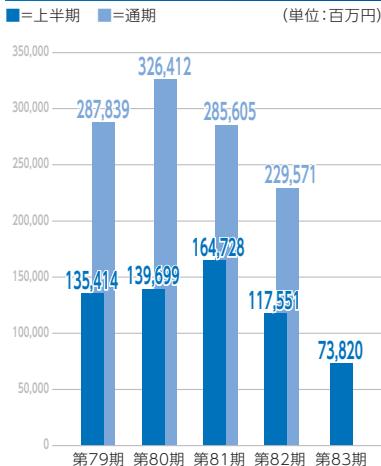
細川 浩一

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は738億20百万円(前年同期比37.2%減)、営業利益は26億21百万円(前年同期比24.8%減)、経常利益は26億23百万円(前年同期比22.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億15百万円(前年同期比32.2%減)となりました。

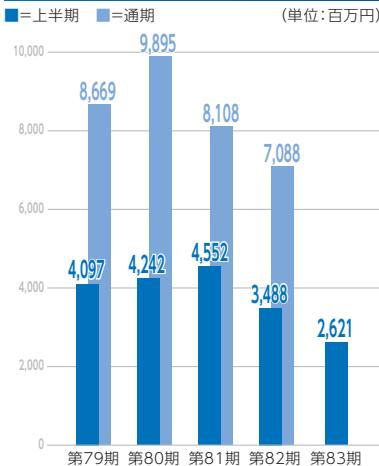
当期決算ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS

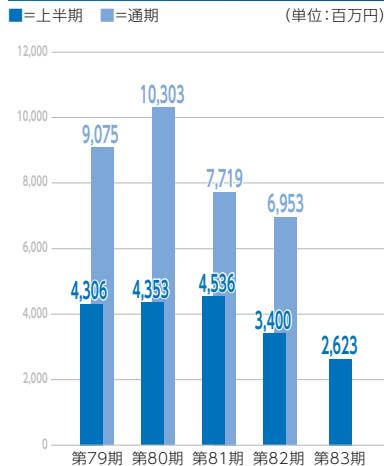
売上高



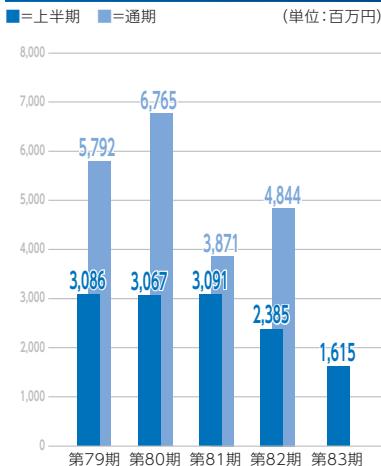
営業利益



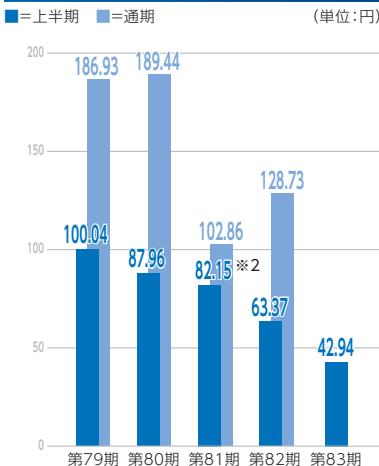
経常利益



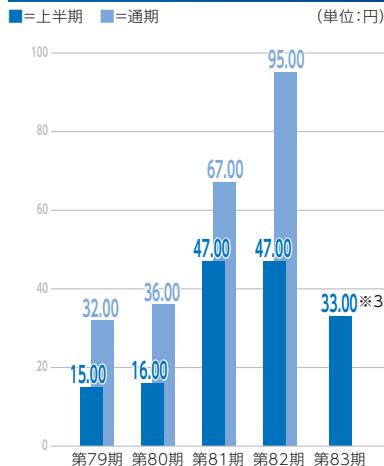
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益



1株当たり配当金



通期の見通し^{※1}

売上高

160,000百万円
(前期比30.3%減)

営業利益

5,700百万円
(前期比19.6%減)

経常利益

5,600百万円
(前期比19.5%減)

親会社株主に
帰属する
当期純利益

3,600百万円
(前期比25.7%減)

※1 通期の連結業績予想につきましては、今後の動向に応じて修正の必要が生じた場合には速やかに公表させていただきます。
 ※2 第81期上半期の1株当たり四半期純利益の減少は、新株予約権の行使による期中平均株式数の増加によるものであります。
 ※3 第83期期末配当につきましては、本書P8に記載の公開買付けの成立を条件に、配当を行わないことを決議いたしました。
 詳細は、平成29年10月31日付、「平成30年3月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

連結財務諸表

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期	前 期
	平成29年9月30日現在	平成29年3月31日現在
資産の部		
流動資産	92,200	93,380
現金及び預金	30,602	29,055
受取手形及び売掛金	47,620	50,789
たな卸資産	11,071	10,844
その他	2,905	2,689
固定資産	25,512	24,144
資産合計	117,712	117,525
負債の部		
流動負債	36,794	36,706
支払手形及び買掛金	27,556	28,652
電子記録債務	4,190	2,899
短期借入金	1,042	894
その他	4,004	4,258
固定負債	2,993	2,911
負債合計	39,787	39,617
純資産の部		
株主資本	72,393	72,584
資本金	10,045	10,045
資本剰余金	9,918	9,918
利益剰余金	54,337	54,527
自己株式	△1,907	△1,907
その他の包括利益累計額	2,751	2,654
非支配株主持分	2,779	2,669
純資産合計	77,925	77,908
負債純資産合計	117,712	117,525

(百万円未満を切り捨てて表示しております。)

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期	前第2四半期
	平成29年4月1日から平成29年9月30日まで	平成28年4月1日から平成28年9月30日まで
売上高	73,820	117,551
売上原価	63,680	106,683
売上総利益	10,140	10,867
販売費及び一般管理費	7,518	7,379
営業利益	2,621	3,488
営業外収益	223	202
営業外費用	221	290
経常利益	2,623	3,400
特別損失	259	10
税金等調整前四半期純利益	2,364	3,390
法人税等	645	917
四半期純利益	1,719	2,472
非支配株主に帰属する四半期純利益	103	87
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,615	2,385

(百万円未満を切り捨てて表示しております。)

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期	前第2四半期
	平成29年4月1日から平成29年9月30日まで	平成28年4月1日から平成28年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,514	14,565
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,822	△272
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,939	△483
現金及び現金同等物に係る換算差額	△177	△997
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,575	12,811
現金及び現金同等物の期首残高	28,236	16,836
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,812	29,647

(百万円未満を切り捨てて表示しております。)

重点事業の概況

REVIEW OF OPERATIONS



黒田電気のネットワーク

WORLDWIDE NETWORK

世界のビジネス環境は、複雑かつ激しく変化を続けています。お客様の要求は多岐に渡り、開発・製造・購買・物流のすべてに対応が求められます。黒田電気が持つグローバル・ネットワークは様々なビジネスモデルにフレキシブルに対応し、お客様の満足度を高めてまいります。

【地域別売上高推移(向け先ベース)】

日本 >>>

TV用大型液晶関連ビジネス及びスマートフォン向け中小型液晶関連ビジネスともに大幅な受注減を受け、前年同期比で減少いたしました。

アジア >>>

自動車関連ビジネスは堅調に推移いたしました。

大型液晶パネル販売が取引先の事業方針変更の影響を受け終了したことにより、前年同期比で減少いたしました。

北米/欧州 >>>

取引先の事業方針変更の影響を受け、大型液晶パネル販売が終了したことにより、前年同期比で減少いたしました。

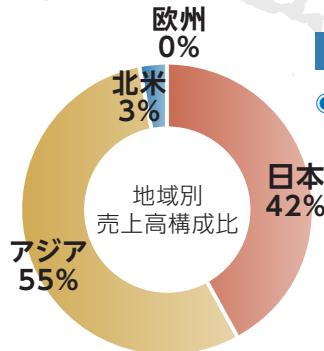
■ 北米

6 販売拠点

- クロダ エレクトリック U.S.A. INC.
- クロダ エレクトリック U.S.A. INC. テネシー支店
- クロダ エレクトリック U.S.A. INC. サンディエゴ支店
- クロダ エレクトリック U.S.A. INC. ミシガン支店
- ナンカイ エンバイロテック Corp.
- クロダ エレクトリック メキシコ S.A. de C.V.*1

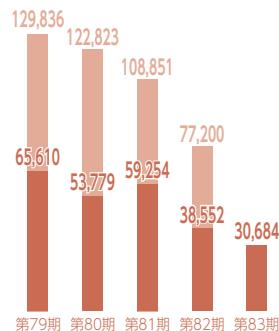
1 製造・加工会社

- ナンカイ メキシコ, S.A. de C.V.



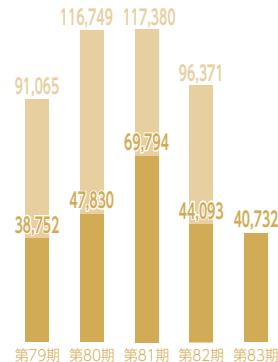
日本

■ = 上半期 ■ = 通期 (単位: 百万円)



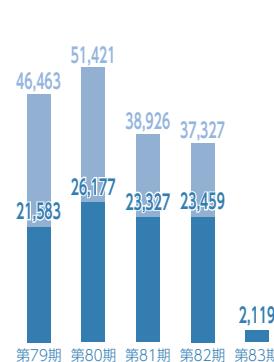
アジア

■ = 上半期 ■ = 通期 (単位: 百万円)



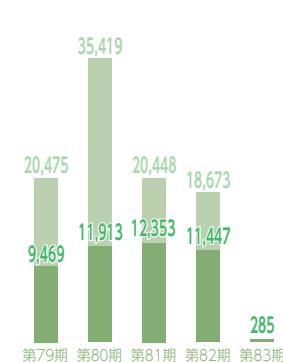
北米

■ = 上半期 ■ = 通期 (単位: 百万円)



欧州

■ = 上半期 ■ = 通期 (単位: 百万円)



■ 欧州

1 販売拠点

- クロダ エレクトリック チェコ s.r.o.

■ アジア

16 販売拠点

- Z.クロダ(シンガポール)PTE.LTD.
- クロダ エレクトリック(マレーシア)SDN.BHD.
- P.T.クロダ エレクトリック インドネシア
- Z.クロダ(タイランド)CO.,LTD. バンコク支店
- Z.クロダ(タイランド)CO.,LTD. ハノイ支店
- クロダ エレクトリック フィリピンズ,INC.
- クロダ エレクトリック コリア INC.
- クロダ エレクトリック インディア PVT.LTD.
- 黒田電気(香港)有限公司
- 黒田電子(深圳)有限公司
- 黒田虹日集団(香港)有限公司
- 上海黒田貿易有限公司
- 上海黒田貿易有限公司南京支店
- 上海黒田貿易有限公司無錫支店
- 天津黒田貿易有限公司
- 台湾黒田電器股份有限公司

■ 日本

11 販売拠点

5 主要物流拠点

4 製造・加工会社

- 黒田テクノ株式会社
- 株式会社コムラテック
- 株式会社Sohwa & Sophia Technologies
- 日動電工株式会社

1 持株会社

- 株式会社天満トラスト

9 製造・加工会社

- PT トリミトラ チトラハスタ
- Z.クロダ(タイランド)CO.,LTD.
- クロダ オートテック(タイランド)LTD.
- ボラムテック(ベトナム)CO.,LTD.
- クロダ マニュファクチャリング ベトナム CO.,LTD.
- イーコリア&クロダ エレクトリック インディア PVT.LTD. ※2
- 東莞虹日金属科技有限公司
- 凱欣自動化技術(深圳)有限公司
- 合肥市精捷塑胶技術有限公司

3 管理統括会社等

- 上海黒田管理有限公司
- ハイバット グローバルCO.,LTD.
- エコ テックウェル インベストメント Inc.

※1 非連結子会社

※2 持分法適用関連会社

国内グループ会社のご紹介

GROUP COMPANY INFORMATION



“ものづくりをする商社”と評される黒田電気。

…その原点は、黒田電気の一部門としてスタートした「**黒田テクノ**」にありました。

創業50年の研究開発で積み重ねられた創造技術の結集体
自動化技術に特化した企業で設計から据え付けまで一貫した生産体制が強みです。

会社名	黒田テクノ株式会社
創業	2000年
資本金	2億円
従業員数	28名(2017年9月末現在)
株主	黒田電気株式会社 100%
主要事業	高精度製造設備の設計・製作 超音波はんだ付け技術製品 検査・組立設備の設計・製作
本社・工場	横浜市港北区新吉田町157
*凱欣自動化技術(深圳)有限公司	深圳市坪山新区深圳出口加工区 新世纪科技工业园4号楼1楼南侧
WEBサイト	http://www.kuroda-techno.com

【沿革】

1956	黒田工業(株)を設立して生産部門に進出
1963	黒田電気(株)の塗料部と合併し、黒田化学株式会社を設立
1977	黒田電気(株)との合併
1980	旭硝子(株)より超音波はんだ付け技術を導入
1982	HDDのアナログ試験機の納入開始
1992	太陽電池電極付け装置の納入開始
1994	薄膜系太陽電池の全自動機を納入開始
2000	旭硝子(株)より、セラソルザ事業の移管
2000	黒田電気(株)より分離し、黒田テクノ(株)を設立
2003	超小型(1インチ)HDD組立装置納入開始
2006	全自動HDD組立装置納入開始
2010	太陽電池用電極材料セラリボンの販売開始
2011	超音波はんだ付け機器サンボンダの販売開始

高精度製造設備の設計・製作

高精度製造設備の設計・製作(自動車、カメラ、FPD等)、精密部品の測定器、検査治具制作、精密ダイ製作



超音波はんだ付け技術製品

ガラス、セラミック、希土類金属から樹脂フィルムまで、はんだ付けが出来る特殊はんだと超音波を利用した装置の開発・製作(太陽電池のリード出し、電極線、PC用CRTの集積電極、ターゲット材の張り合わせ、超電導セラミックの電極形成)



検査・組立設備の設計・製作

高密度化、小型化と目まぐるしく技術進歩してくるHDDを確実に早く信頼性高く組み立てる設備や治具の設計・製作



MBKパートナーズグループによる当社株券等に対する公開買付けの実施

MBKパートナーズグループが管理・運営するKMホールディングス株式会社による当社に対する公開買付け(以下「本公開買付け」)に賛同の意見を表明するとともに、株主の皆様に対して本公開買付けへの応募を推奨する旨を、平成29年10月31日開催の取締役会において決議いたしました*。

本公開買付けの背景

平成29年5月に新中期経営計画を策定・公表いたしました。新中期経営計画での重要課題を実現するための施策を実施し、安定的な事業基盤を構築するとともに、更なる成長や企業価値向上を目指していくためには、よりスピード感をもってM&Aや資本業務提携等の実行、人材や設備への戦略的投資を積極的に行っていくことが必要であると認識しておりました。

本公開買付けの目的

上述の背景の中で、独立系ファンドとしてアジアを中心とした地域における確固たる知見及び強固なネットワークを活用し、M&Aの推進や専門的人材の確保補強を含めた様々な支援を行う方針を示しているMBKパートナーズグループによる非公開化の提案を受け入れることが、新中期経営計画の確度を高めるとともに、計画期間以降における安定的な事業基盤の構築と更なる成長や企業価値向上に繋がる最善の手段であると判断しました。

本公開買付け後の事業運営

▶ 事業全般

新中期経営計画を踏襲することを基本とし、最大の経営資源である人材の確保補強、各種施策実行のサポート並びに事業別収益管理及び事業責任の明確化を進めていきます。

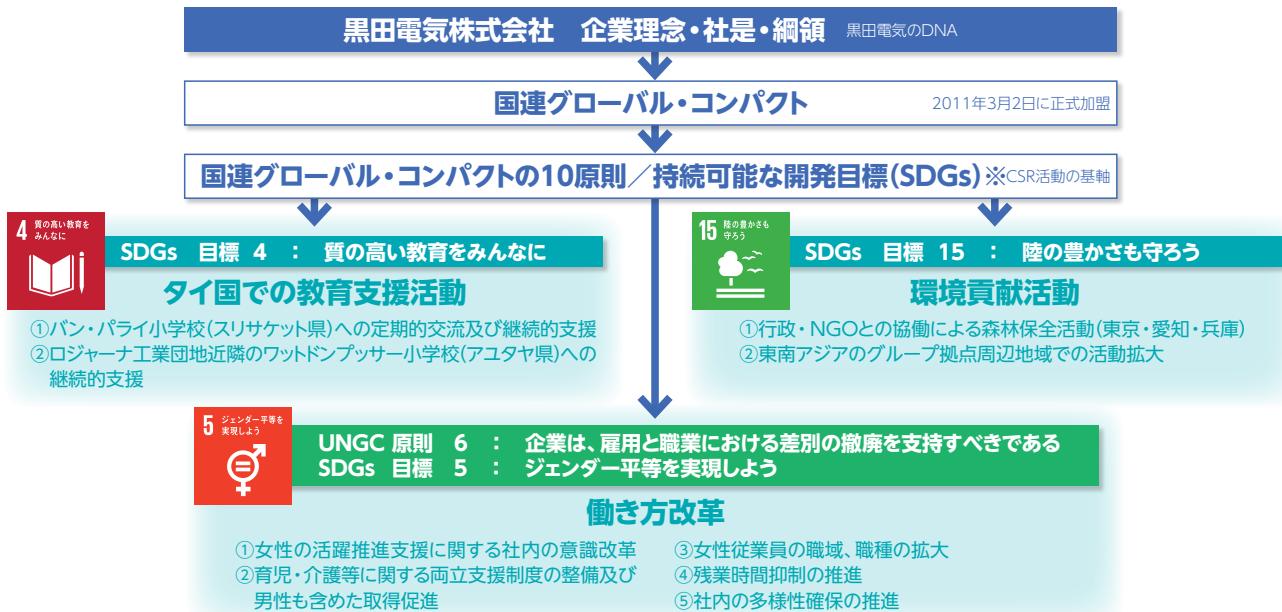
▶ 商社事業

現在推進している事業戦略だけでなく、海外向けビジネスの強化を含めて、あらゆる選択肢を視野に成長戦略を検討します。

▶ 開発・製造事業

子会社ごとの運営からセグメントごとに統括する運営体制に変更し、セグメントごとに子会社を横断的に経営し、より一層一貫性を向上させます。また、今後も同事業をさらに発展させていくために、積極的にM&Aを推進していきます。

※：詳細は平成29年10月31日付「KMホールディングス株式会社による当社株券等に対する公開買付けに関する意見表明のお知らせ」をご参照下さい。



※2030年に向けて達成すべきアジェンダとして2015年に採択された「持続可能な開発のための17の目標と169のターゲット」

環境貢献活動

黒田電気の「企業の森」活動 (兵庫県川西市)

当社グループは、2008年に東京都青梅市において森林整備活動を開始いたしました。また、2011年から兵庫県川西市においても同様の活動を実施しております。

今年度も「企業の森」活動の一環として、7月に下草刈りを実施しました。実施場所は、「日本一の里山」と称される黒川地区の大土山共有林(約1ha)で、豊臣秀吉らが愛用した茶道用の高級炭「菊炭」の生産地として広く知られているエリアの一角です。里山の生物多様性と景観に配慮し、持続可能な「菊炭」の生産に寄与すべく、クヌギの植林や下草刈りなどの環境貢献活動を継続しています。

今年は梅雨明け後炎天下での下草刈りとなり、現地では身の丈を超えるまでに成長した雑草と格闘いたしました。午前中の作業でしたが、全身から汗が噴き出すほどの大仕事となりました。

当日は、黒田電気の社員を始め、国内グループ会社のコムラテック、日動電工、Sohwa & Sophia Technologiesの社員、ならびに兵庫県農政環境部豊かな森づくり課及び兵庫県緑化推進協会の職員の方々を含む総勢72名が参加いたしました。当社グループでは、このような活動を今後も継続的に行ってまいります。



会社の概況／株式の状況

CORPORATE INFORMATION / STOCK INFORMATION

平成29年9月30日現在

会社概要

商号	黒田電気株式会社
設立	昭和22年3月29日
資本金	100億4,576万円
従業員数	317名(男性230名/女性87名) グループ会社を含む全従業員数3,709名

黒田グループネットワーク

国内ネットワーク 販売拠点：11箇所
主要物流拠点：5箇所
製造・加工会社：4箇所
持株会社：1箇所

海外ネットワーク 販売拠点：23箇所
製造・加工会社：10箇所
管理統括会社等：3箇所

本社 〒140-0013
東京都品川区南大井五丁目17番9号
電話：03-5764-5500 FAX：03-5764-1500

本店 〒532-0012
大阪市淀川区木川東四丁目11番3号
電話：06-6303-1300 FAX：06-6303-3078

役員

取締役

取締役	細川 浩一
取締役	森 安伸
取締役	常山 邦雄
取締役	岡田 重俊
取締役	山下 淳
取締役	篠 秀一
取締役	安延 申

(注) 取締役のうち、常山邦雄、岡田重俊、山下淳、篠秀一、安延申の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

執行役

代表執行役社長(CEO兼COO)	細川 浩一*
執行役専務	村上 正三
執行役常務	中江 良範
執行役常務	森 安伸*
執行役	山本 恵生
執行役	中山 浩三
執行役	春日 哲也
執行役	松田 昌三

*取締役を兼務

株式の状況

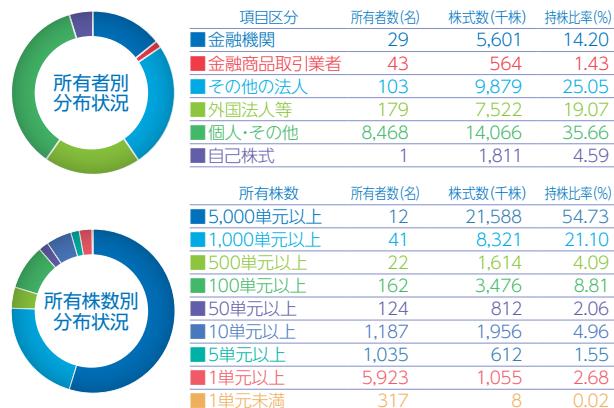
発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	39,446,162株(1単元の株式の数100株)
株主数	8,823名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社レノ	3,742	9.94
野村 絢	3,722	9.89
株式会社オフィスサポート	3,644	9.68
中島 章智	3,562	9.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,464	9.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,061	2.81
GOVERNMENT OF NORWAY	878	2.33
シチズン時計株式会社	600	1.59
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	533	1.41
JP MORGAN CHASE BANK 385151	487	1.29

- (注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 当社は、自己株式1,811,331株を保有しておりますが、上記10名の株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
3. 持株数(千株)は、平成29年9月30日現在の株主名簿に基づいております。

株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
公告の方法	日本経済新聞による

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱い出来ませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎ致します。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払い致します。

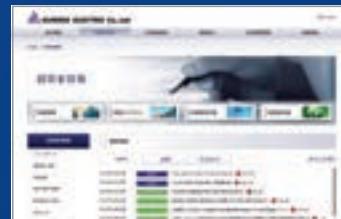


当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報など当社をよりご理解いただくための様々な情報をご提供しています。

会社情報



投資家情報



<http://www.kuroda-electric.co.jp/>

黒田電気

検索